

「第3回 北上川水源地域セミナー」

テーマ 死の川からの再生

—松尾鉱山の光と影 北上川の今と昔—



汚染された松川（北上川との合流点）（1974年当時）

（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構）

「旧松尾鉱山坑廃水処理事業の概要」より出典

「雲上の楽園」といわれた松尾鉱山は、日本の硫黄生産量の約40%を占め、東洋最大の硫黄鉱山でした。強酸性の鉱毒水により北上川では、1920年代から鉱毒被害が発生し、いつしか「死の川」と呼ばれるようになります。そこで、1972年から北上川に直接炭酸カルシウムや消石灰を投入する中和処理を実施するも下流にあった四十四田ダムに中和生成物が沈殿堆積しました。現在は・・・「死の川」から再生する北上川の姿を追います。

参加費 【無 料】

開催日 平成30年 **1**月**27**日(土) 13:30~15:30

開催場所 **岩手県立博物館：講堂**（岩手県盛岡市上田松屋敷34番地）

演題：死の川からの再生 —松尾鉱山の光と影 北上川の今と昔—

講師：武田麻紀子 県立博物館専門学芸調査員

主催 北上川水源地域交流会
（構成団体：四十四田ダム水源地域ビジョン推進会議、御所ダムビジョンネットワークの会、湯田ダムビジョン推進協議会、田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会、胆沢ダム水源地域活性化協議会、北上川ダム統合管理事務所）

共催 岩手県立博物館
北上川「流域圏」フォーラム実行委員会

申込方法 一般参加者は当日受付可。（水源地域ビジョン関係者は下記担当者までご連絡ください）

問合わせ 一般社団法人いわて流域ネットワーク（担当 菊池）
TEL 019-681-2622 FAX 019-681-2517 携帯：090-5187-8343